

# FUJIKURA NEWS 6

2020 No.466

Fujikura Modern history -2

## 開発ラッシュの岩戸景気

本格的な海外工事第一号である「アラビア石油の海底ケーブル」が昭和37年に完成。この時期当社では新方式の技術・新製品の開発が活発化した。

電電公社電気通信研究所へ納入された発泡ポリスチロール同軸ケーブルは、特性が最良と認められ、アメリカ・カナダへ技術輸出され特許を得た。関連事業も充実し、藤倉プラスチック、藤倉運輸、藤倉倉庫など、多くの会社が設立された。



アラビア石油海底油田用ケーブル敷設作業（昭和37年）

エネルギー  
情報通信

## 新型耐火ケーブルの開発



(株)フジクラ・ダイヤケーブルでは、耐火ケーブルに新たなラインナップを追加するために、小勢力回路<sup>※1</sup>用の耐火ケーブルを開発しています。

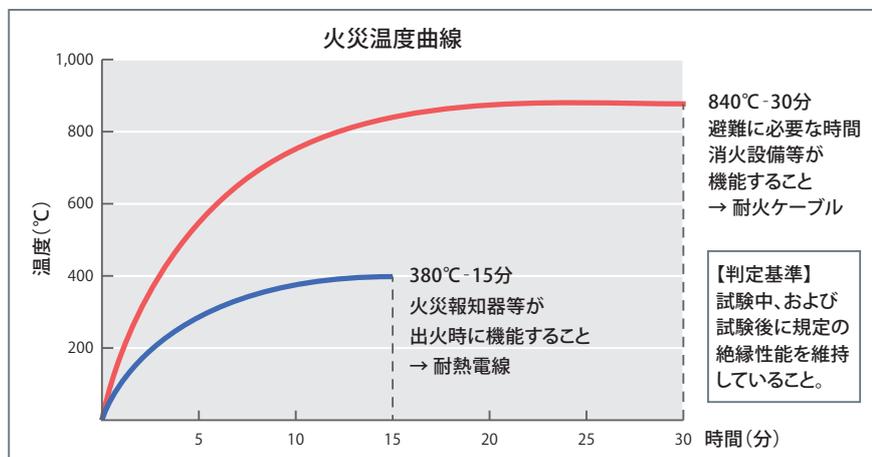
現在、火災時の緊急放送や非常灯の点灯を一定時間確保するための電線・ケーブル品種には、耐熱電線と耐火ケーブルの2種類があります。耐熱電線は、緊急放送や火災報知器等の通信回路、耐火ケーブルは、非常灯や消火用ポンプの駆動といった電源回路に主に用いられています。それぞれ下図に示す条件の加熱試験に耐える性能が要求されています。

近年、耐熱電線を適用する通信回路でも、耐火ケーブルと同等の耐加熱（耐火）性能を有し、かつ、取り回しが容易なケーブルが求められています。今回、開発しているケーブルは、これらの要望に応える新型の耐火ケーブルです。

当製品は、600V以下の低圧耐火ケーブルをベースとして、小勢力回路用に絶縁体やシースの厚さを設計しているため、低圧耐火ケーブルに比べ、細径かつ軽量になっています。そのため、耐熱電線以上の性能が求められる配線で、低圧耐火ケーブルでは外径が太く、取り回しが難しいようなケースにおいて、当製品をご活用いただくことが期待されます。

現在、小勢力回路用の耐火ケーブルの規格化や認定制度が検討されており、認定制度が整備され次第、当製品の認定を取得予定です。

※1 小勢力回路・・・最大使用電圧が60V以下の回路



● 図：耐火耐熱ケーブルに要求される加熱条件